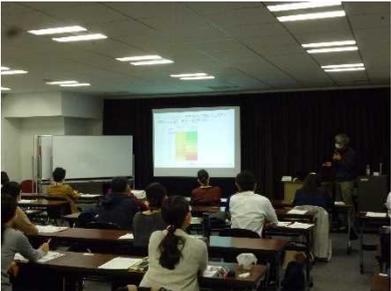


専門研修「検査技術」

【日時】	令和2年10月15日(木) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	28名
【講師】	東京都健康安全研究センター 微生物部 ウイルス研究科 職員 東京大学 環境安全研究センター 東京大学大学院 医学系研究科 病因・病理学専攻 准教授 江幡 正悟 氏 国立感染症研究所 細菌第一部 第三室 職員 東京都健康安全研究センター 微生物部 食品微生物研究科 職員
【研修内容】	<p><目的></p> <p>保健所行政における試験検査に関する最新の知識や技術を習得し、検査精度の向上を図る。</p> <p><内容></p> <p>①新型コロナウイルスについて ②検査室の安全管理について ③新通知法に基づくレジオネラ属菌検査 ④腸管出血性大腸菌の最新の知見</p>  <p><講義の様子></p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナについて、実際に検査機関として携わっている方のお話を聞くことができ、とても有意義でした。菌種名や病名等、表面的な知識しかありませんでしたが、現在までの状況や検査体制等を学べたので、監視時に活かしたいと思います。 ・当区では年に一度毒劇物について使用簿等の確認をしていますが、今後は検査室のレイアウトや事故が起こった時にどうするか具体的に検査室内で話し合いたいです。 ・レジオネラに対する知識が薄かったので基礎から学べてよかったです。検査法の特徴とともに、コロニーの特徴も写真を見ながら学ぶことができました。 ・様々な検出法やベロ毒素の検査法に関し、メリット・デメリットについて経験を踏まえたお話を聞いて大変勉強になりました。海外からの持ち込みも増えているというのも今後注視したいと思います。